

子ども家庭相談より



ストップ!! 子ども虐待

虐待が起る要因は、大きく分けて次の3つのことが考えられています。

●保護者の性格

『オール・オア・ナッシング』(完璧を目指すけれども、納得いかない結果が予測できる時には何もしない・何もしたくない)の性格は虐待してしまう傾向が強くなります。

「ちゃんと育て(しつけ)なければ」「周りから良い親だと思われなければ」など、「しなれば」が強ければ強いほど、子どもに対して暴力的な言葉や態度をとってしまうものです。

それに子どもが言うことを聞いてくれなければ、「これだけしてあげたのに(わかってくれない)」という『うちみうちみ』が頭を持ち上げ、極端には、子どもが可愛くなくなったり、「勝手にしなさい!」と言ってしまうこともあってしょう。

●保護者の価値観  
虐待してしまう保護者の研究

現在の子育て家庭 ④

■仲間作りの大切さ

小さな生命が誕生し、お母さんは慣れない育児に四苦八苦。毎日、子どもと二人きりで向かい合い育児ストレスが溜まってきて孤独な子育てだと感じながら、どうすればいいのだろうと悩んでいる方もおられるのではないのでしょうか。

子育てについて日常的に話し合えたり、親子で一緒に過ごす子育て仲間がないことは、大きな

地域で子育て支援 ④

■社会資源としてのマンパワー①

〈専門職〉

児童に関する専門職には児童福祉司、保健師、保育士、教職員、心理職員などがいます。

保健師とは、乳児の頃から健診などで関わる機会が多いと思います。健診などはせっかくの機会ですから、ささいな疑問でも聞いてみてはいかが

精神的ストレスです。また、親のストレスは子どもへの関わりにも大きな影響をもたらします。

多くのお母さんは、自分の今の状態を人に聞いてもらう事で悩みが解消するものです。公園などに出かけて、当たり障りのない話から会話が弾み、昔からの友達みたくにうち解けられると嬉しいものです。しかし、公園でタイミング良く人に会って話しをする機会があるとは限らず、雨の日は

外にも出られなくなってしまう。子育て支援センターをご存知ですか?

人と出会う場があり、親同士、子ども同士がつながっていくことで、小さな不安が解消し、育児書の「大丈夫」という活字ではなく、仲間からかけてもらった言葉から強い安心感と温かみを得られます。

子育て仲間を作って、お母さん自身も子育てを楽しんでほしいと思います。

返ってくる大きな問題に発展せずに済むかもしれません。

保育士や教職員とは、その年代のお子さんがおられる方なら必ず関わりがあると思います。担任だけではなく、校長や園長、教頭や養護教諭など、それぞれの先生がいろいろな担当を持っておられます。大切なお子さんのことを教職員・保育士などと話し合うのはとても有意義です。また、保育園へ行っていないお子さんには、子育て支援センターがあります。そこでは担当保

●子どもの性質

子どもに対して育てにくいな、苦手だなあと感じることもあるかもしれません。こういった子どもは他の子どもよりも丁寧に接したり、周りの人に相談することが大切なのですが、疲れ知らずの言動をするため保護者のペースが作りにくく、イライラしがちになります。

◆3つの要因から...

この3つの要因を眺めてみると、「そういうことって、わたしにもあるよ」と感じられる方もいらっしゃるのではないかと思います。私たちは、つい「そんなことではダメだ」「もうちょっと何とかならないかな」と減点法で考えがちになります。しかし、子育てに必要なのは加減法です。少しでもできることやできたことを「できるじゃない!! それでいいんだよ」と支持し、それらがもっと上手いくくように一緒に考えることが大切です。

(子ども家庭相談課)



●藤波幼稚園

- 所在地：高島市安曇川町上小川61番地
- 連絡先：☎・☎(32)0329
- 入園状況：平成18年8月1日現在 73人
- 【内訳】1・2歳：7人 3歳：18人 4歳：26人 5歳：22人

藤波幼稚園は、藤樹書院や神社をはじめ、文芸会館や図書館といった文化的な環境や自然に恵まれており、子どもたちとよく散歩に出かけています。小さな園なので、全園児で行くこともでき、大きい子が小さい子の手をつないで一緒に散歩します。また、先生たちも子どもたちみんなをよく知っていて、一人ひとりの園児に声をかけ、関われる温かい雰囲気幼稚園です。

園の生活では、子どもたちが見通しをもって生活できるように1日の流れをつくり、子どもたちの年齢や興味関心に応じた玩具・教材等を準備し、保育室や園庭の環境づくりに配慮することで、「いっぱい遊んで楽しかったね」という満足感をもって「遊びの中で育ってほしい」と願っています。

一方で、子育て支援にも力を入れており、預かり保育は長期休み期間中も実施しています。また、子育て相談も在園児は毎日、未就園児は木曜日を中心にを行っています。木曜日には未就園児親子遊びの場「さくらんぼクラブ」も実施しており、親子がとても楽しく活動しているとともに、「またお家でも遊べたら・・・、子育てのヒントになれば・・・」と願いを込めて、遊びの内容や意味を「さくらんぼだより」で詳しくお知らせしています。

藤波幼稚園では、子育て真っ最中の方をいろいろな取り組みで応援しています。お気軽にご利用いただき、日々の子育てに生かしてください。



●愛隣保育園

- 入園状況：平成18年8月1日現在 141人
- 【内訳】0歳：4人 1・2歳：22人 3歳：36人 4歳：41人 5歳：38人
- 所在地：高島市今津町上弘部438番地
- 連絡先：☎・☎(22)2339

子育てに奮闘されている皆さん、こんにちは。愛隣保育園です。私達の保育園では、隣人愛の精神のもと、豊かな体験を通し丈夫な体と感謝の心を育む保育をしています。森と田畑に囲まれた自然を生かし、散歩先で草花や小動物に触れたり、砂場で泥んこ遊びを楽しんだり、時には保育士の悲鳴が聞こえそうなダイナミックな遊びなどが賑やかに展開されています。また、月に1回、バスで園外保育にも出かけます。

年長児になると、お泊まり保育や鼓隊演奏など特別な行事が増えますが、子どもたちの成長が感じられるのもこの頃からです。0才から5才の子どもたちがお互いに刺激を受け育ち合うのが保育園のいい所です。

“子どもの笑顔はみんなの笑顔”をモットーに、職員も笑顔を忘れずに子どもたちと関わるように努めています。笑顔は人と人との大切なコミュニケーションの一つです。子どもはお母さんの笑顔が大好き。笑顔一杯で楽しく子育てができるよう応援しています。悩み事など気軽にご相談ください。



◆このコーナーに関するお問い合わせは … 子ども家庭総務課 ☎(25)8136、子ども家庭相談課 ☎(25)8117

- 子育て支援センターへの問い合わせ
- マキノ地域(マキノ児童館内) ☎27-8187
  - 安曇川地域(古賀保育園内) ☎33-1540
  - 今津地域(今津東保育園内) ☎22-4833
  - 高島地域(高島保育園内) ☎36-0660
  - 朽木地域(朽木保育園内) ☎38-2070
  - 新旭地域(大師山さくら園内) ☎25-8439